

図書館へ行こう

本は、市内の図書館・図書室でいつでも貸出・返却できます。

おすすめの
新刊

『アナログ』
著／ビート たけし
出版社／新潮社
「お互いに会いたいという気持ちがあれば、絶対に会えますよ」全てがデジタル化する世界で悟とみゆきが交わした、たったひとつの不器用な約束。素性も連絡先も知らないまま、なぜか強烈に惹かれあふ二人の、「アナログ」な関係が始まった。「誰かを大切にする」とは何かを問いかける渾身の長編。



『現代そば料理
新しい味・新しい技』
編／旭屋出版編集部
出版社／旭屋出版

手繰りや玄治の「旨塩和えそば」、日本橋 本陣房「けんちんつけ蕎麦」、など、そばをおいしく味わうためにさまざまな新しい食べ方を提案し、人気を集めている「創作そば」の料理書です。人気そば店、11店の創作そば147品のレシピを大公開。



『ナルニア国物語 1
ライオンと魔女と洋服だんす』
作／C.S.ルイス
訳／河合 祥一郎
出版社／KADOKAWA

田舎の古い家にあずけられた4人兄妹は、空き部屋で大きな洋服だんすをみつけます。開けてみると、そこは黒い魔女が支配する国ナルニア。この国を救うため、4人は魔女に戦いを挑み…。世界中で愛されている名作の新訳。



『ながさきアンジェラスのかね』
文／中井 俊巳
絵／おむら まりこ
出版社／ドン・ボスコ社

長崎の浦上天主堂にはアンジェラスの鐘という、美しい音を響かせる鐘があります。戦争で原子爆弾を落とされ、街も浦上天主堂も壊されてしまいましたが、その年のクリスマス前、がれきの下からアンジェラスの鐘が見つかり…。



『藤田浩子の
ハンカチでおはなし』
著／藤田 浩子
出版社／一社

ハンカチ(トリコットハーフ)を折りながら、おはなししたり、歌いながら振ったり、丸めたり、フーツと吹いたり…。親子で、保育園、幼稚園で、おはなし会で、手軽に楽しめるハンカチ(布)あそびを、イラストを使って紹介します。楽譜も掲載。一緒にふわふわの布で遊ぼう！



図書館のイベント情報

会 場	主なイベント	開催時間
平戸図書館	おはなし会 (おはなしのへや)	毎週日曜 午後2時～
	赤ちゃんおはなし会 (おはなしのへや)	13日(水) 午前10時30分～
	かんたん工作教室 (おはなしのへや)	3日(日) 午後2時30分～
	手作りプラネタリウム・冬 (おはなしのへや)	16日(土) ①午前11時～②午後2時～
	「みんなdeシネマ」(COLAS平戸ホール) 「脇役物語」(日本：97分)	9日(土)・27日(水) 午後2時～
	ライブラリーコンサート(COLAS平戸ホール) クリスマススペシャル(予定)	23日(土) 午後7時～
永田記念図書館	おはなし会 (ふれあいセンター児童室)	毎週土曜 午後2時～

今月の休館日 平戸図書館：28日(木)～1月3日(水) 永田記念図書館：5日(火)、12日(火)、19日(火) 24日(日) 26日(火)、28日(木)～1月3日(水)

各図書館・図書室連絡先

平戸図書館 ☎22-4017
永田記念図書館 ☎28-0128
南部公民館図書室 ☎27-0047
生月支所図書室 ☎53-2111
田平町中央公民館図書室 ☎57-0207
大島村公民館図書室 ☎55-2985

図書館ホームページ

http://www.hirado-lib.jp
携帯電話から
QRコードを読み込んで
簡単にアクセスできます。



各地域の食生活改善推進員が紹介します！ 9

今月のレシピ

☎保健センター健康づくり推進班 ☎57-0977

『あさりとコーンの和風チャウダー』

【材料(4人分)】

タマネギ・・・200g あさり(むき身)・・・120g
ニンジン・・・70g 豆乳(無調整)・・・400ml
しめじ・・・1パック 片栗粉・・・大さじ2分の1
サラダ油・・・大さじ2分の1 水・・・大さじ1
ホールコーン(缶)・・・100g パセリ(みじん)・・・小さじ1
だし汁・・・200ml 味噌・・・大さじ1
(昆布・かつおぶし)

【作り方】

- ①タマネギは角切りに、ニンジンはいちよう切りにする。しめじは石づきを取り、1cmの長さに切る。
- ②鍋にサラダ油を熱し、①の野菜を炒める。水切りしたコーン、あさり、だし汁を加えて、野菜に火が通るまで10分ほど煮る
- ③②に豆乳を加えてふつふつしたら、味噌をとき、水溶き片栗粉でとろみをつける。
- ④器に盛り付けパセリをふる。

【栄養(1人分)】

●カロリー 132kcal ●食塩相当量 1.2g



豆乳でヘルシーに！

ホワイトソースを使わずに、豆乳をベースに水溶き片栗粉でとろみをつけています。

あさりの旨みと野菜の甘みたっぷりのマイルドでヘルシーな一品です。



田平支部 つばき会
おかざき 岡崎フミエ さん

深月に伝わる「千年の歴史」(田平町深月地区)

☎文化交流課文化遺産班 ☎内線 2278

深月集落は、田平町の最南端に深く湾入した江迎湾に面する人口139人(63世帯)の集落で、天然の良港として古くから漁業の町として、また、近代には石炭産業隆盛時に北松炭の積み出し港として大いに栄えました。

海に接する深月集落に伝わる歴史は古く、弘法大使(空海)や平家落人伝説にまつわる話が今も伝わっています。「弘法大使が田の浦から渡唐する前に深月にも立ち寄った。一宿の礼としてこの地に蚊がいなくなった。」という辻盛男さんは、1862年(文久2年3月)の失火による全戸焼失から約120年に渡り無火災を続け、日本消防協会から無火災百年の表彰を受けたことなども話してくれました。また、

一緒に町を案内してくれた村田重光さんは「深月は海に生きる漁業の町として、恵比寿様、金毘羅様などの信仰心にも厚く、高台のお堂には、お薬師様やお大師様、神変様などを大切に祀っているが、雪駄様など地域の伝承が失われつつあるので記録などに残していきたい」と話してくれました。

今回の取材で、市内の集落には、その地域独自の歴史と文化があり、伝統的な行事などとともに、住民が今まで伝えてきたということを感じました。そのような地域の伝統や文化を次世代に繋いでいくことの難しさも改めて実感しましたが、集落の誇りともいえるこれらの歴史や文化は、町の貴重な宝ものです。

私のまちの宝探し

このコーナーでは、地域に眠る小さなお宝を紹介します。
vol.9



高台にあるお堂から撮影した深月集落



村田 重光さん、辻 盛男さん
田平町